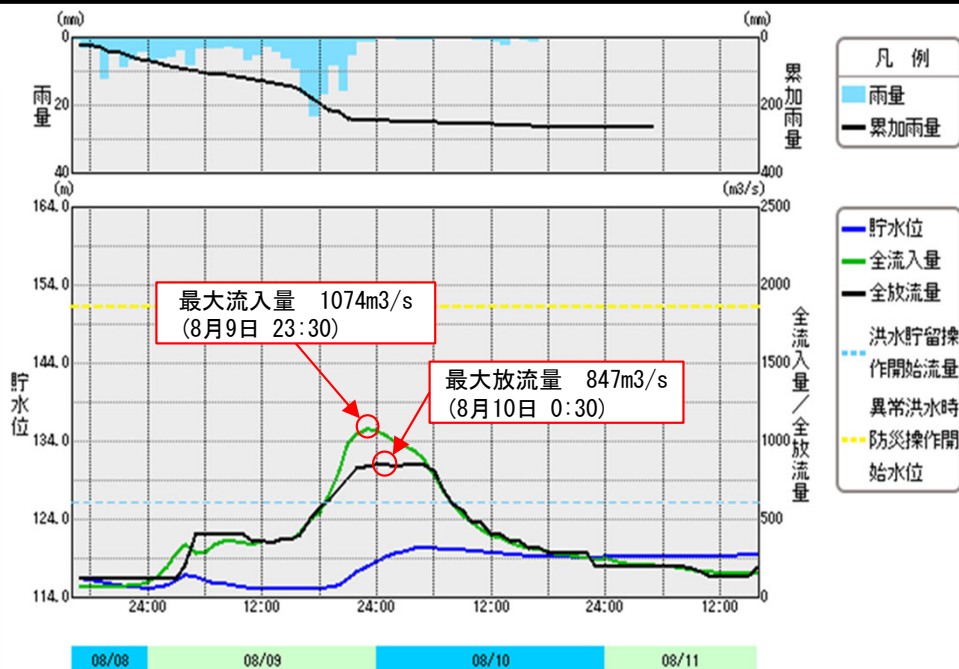


○. 防災操作の効果 鶴田ダム (川内川水系川内川)

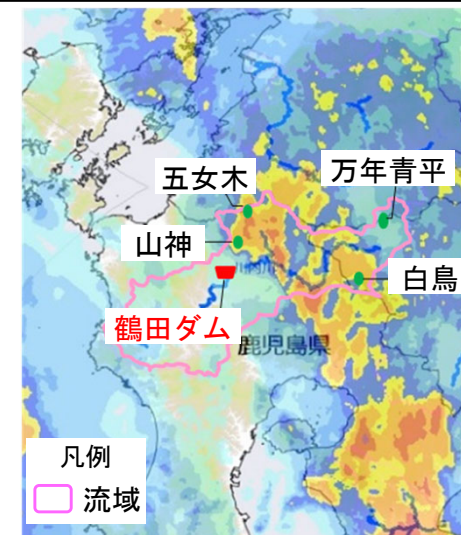
- 台風第6号に伴う豪雨により、鶴田ダム上流域において、8月7日～10日までの総雨量は253mmを観測しました。
- 鶴田ダムでは、9日18時30分より、ダムへ流れ込む水量の一部を貯める「洪水調節」を行いました。
- ピーク流入量は約1074m³/sを記録し、その際ダムにより毎秒235m³を貯留して下流河川の増水を緩和しました。
- 鶴田ダムが無かった場合の宮之城水位観測所の水位は、水防団待機水位(4.00m)を上回る4.30mに達していたと想定され、ダムの洪水調節によって**約0.39m水位を低下**させたと推定されます。



◆ 降雨の状況

鶴田ダム上流域の主な観測地点の雨量
[8月7日10時～8月10日6時]

所在地	観測所名	観測値(累加)
		mm
宮崎県えびの市	白鳥(しらとり)	431.0
鹿児島県伊佐市	五女木(ごめき)	165.0
宮崎県えびの市	万年青平(おもたいら)	378.0
鹿児島県伊佐市	山神(やまのかみ)	132.0
鶴田ダム上流域の平均累加雨量		253.3



国土交通省統一河川情報システム
現況レーダ雨量: 8月9日18時00分

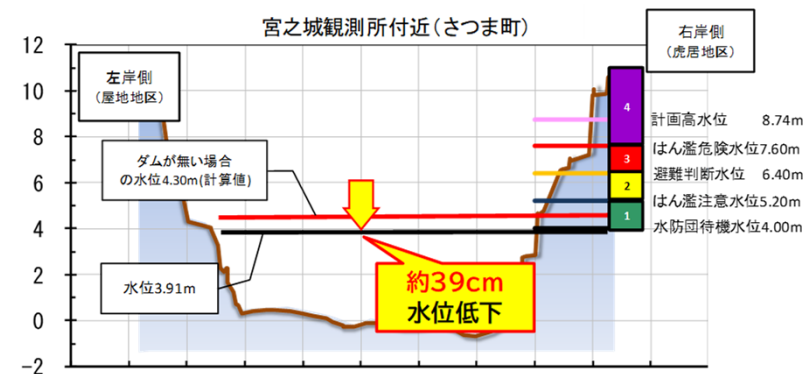
08/08 08/09 08/10 08/11



ゲート放流状況(8月10日6:00頃)



◆ 宮之城付近での鶴田ダムの水位低減効果



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります